



全日本自治団体労働組合 北海道本部 札幌市北区 千060-0806 北6西7北海道自治労会館 電話 011-747-3211 FAX 011-700-2053 編集・発行 谷川 広美

4月1日で被災地派遣の自治体職員交代。どの自治体も厳しく1500人の派遣要請に1000人しか応えられない現状だ。一斉入れ替えて復興が足踏みしかねない。総務省は、地方交付税減額や賃金削減よりやるべきことがある。

朔風

今年は雪が多かった。昨年11月から3月25日までの調査では、雪による死亡32人、ケガ471人、合計503人。調査がはじまった1991年以降の人数で、雪の恐ろしさ思い知った。雪解け間近、春はすぐそこまできている。

2013春闘

4月26日山場

大型ハガキ 4・12中央集會 全力で

削減提案させない

2013春闘は3月15日の自治体闘争山場、さらに3月26日の総務大臣交渉で一定の回答が示された。民間は、政府が経済界に賃上げ要請したこともあり、一時金の満額回答や定期昇給の確保はされたが、デフレ脱却までの「ベア確保」に踏み込む企業は一部の産業だけで少数に止まっている。

総務大臣の回答は、① ムを基本に希望者全員を臨時・非常勤職員の任用に再任用。とした閣議決定は民間労働法制を念頭に置くことが必要②雇用と年金の接続は、フルタイムこれを踏まえ、自治体段

階の取り組みにつなげる。一方、地公給与削減問題については、国会審議の中で、地方交付税を政府の政策誘導に利用していることや地方公務員の給与を下げ、その原資を公共事業へ回すことが地域経済の活性化につながるのか、という疑問に対し、政府は明確な答弁を示さず、29日地方交付税法の改正案が成立した。参議院では、江崎たかし議員(自治労組織内)の質問に、「地公給与削減の質問に、削減提案させない」と取り組むに全力をあげよう。

民間春闘は、経済情勢好転の兆しを受け、大手組合では一時金の満額回答で数年ぶりに前進傾向だ。今後は地場・中小組合に移行するが依然として

共団体が地方公務員法の規定に基づき自ら決定するものであることを基本として対処することなど付帯決議が行われた。この国会審議の動向を踏まえ、引き続き、地公給与の削減を許さないたたかいを進めなければならぬ。『大型はがき』行動や『4・12中央集會』への結集、4月26日の山場にむけ、各単組で「削減提案させない」取り組みに全力をあげよう。



7000人が参加した県民集會 = 3月23日、福島県あづま総合体育館

原発で地域発展はウソ

■福島県民集會

東京電力福島第1原発事故から2年が経過した。今もなお16万人もの福島県民が避難生活を強いられている。地域住民は故郷を追われるだけでなく、分断・離散を余儀なくされ、低線量被ばくの不安で「復興」とは程遠い状況に置かれている。こうしたなか、3月23日、福島県あづま総合体育館で、「原発のない福島を！県民大集會」が開か

れ、県内外から約7000人(北海道15人)が集まった。集會では、さまざまな立場から県民代表が発言し、いまだ見えない「復興」と故郷への思いを語った。ルポライターの鎌田慧さんは、「子どもたちの健康に不安を抱える母親たちに何ができるのか」と語った。政府と東京電力は、平穩を奪った罪を償わなければならない。『原発は地域を発展させる、豊かにする』はウソで、そのウソは今も続いている。力を蓄えて脱原発を進めていかなければならない。福島の人たちとともに頑張っていく」と語った。

自治労道本部結成50周年・歴代委員長リレーエッセー ⑥

大場博之さん(65歳 第10代委員長)

後輩に「夢」託したい



大場さんは、2003年～2006年まで委員長を務めた

道本部とのかかわりは、1983年札幌市職專従時、社会福祉評議会専従の任務に就いた時から。その後、執行委員として衛生医療・社会福祉評議会事務局長。一度単組に戻り、9年後、再び道本部に戻ることになった。副委員長6年、委員長3年の自治労運動は楽しくもあり、辛かったこともあった。2003年、委員長に就任した第44回大会の2日目は、早朝の釧路沖地震で大会を半日繰り上げ、先を暗示するスタートだった。小泉構造改革による地方交付税・社会保障費カット、強制的な市町村合併は、公務員パッシングが吹き荒れ、給与削減、寒冷地手当削減、地域給導入：厳しい攻撃が続いた。そんな中、長期自民党政権に対する国民の離反は着実に進み、近い将来、必ず政権交代の機運が訪れる。と政治闘争にも邁進していた時代でもあった。2007年は、参院選を政治闘争の最重要年と位置づけ、2005年から自治労組織内・朝日俊弘参議の後任に誰を出すかが大きな課題となった。私は、自治労政治活動推進会議議長だったこともあり、その渦中のまただ中に置かれていた。複数の県本部に打診しつつも困難で、最後は北海道に、となった。結果、「あいはらくみこ」の名前を出した時、本部三役が大きくなすいたのが忘れられない。一度は果たした政権交代だ。困難を克服し国民のための真の政治を、生き続けているうちに見られるように、後輩に夢を託したい。

27年目の 4.26

チェルノブイリデー市民集會
◇4月26日(金) 12:00～13:30
◇札幌市大通公園西6丁目広場

チェルノブイリデー市民講演会
◇4月26日(金) 18:00～20:00
◇かでの2・7かでのホール
◇講演「三人寄れば『もんじゅ』を止める知恵」
◇講師 アーサー・ピナードさん

チェルノブイリ事故から27年
いらない原発！変えようエネルギー政策

JICHIRO スケジュール	
4月	
9日(火)	第16回執行委員会(札幌市)
12日(金)	公務労協中央集會・前段地公部集會(東京)
13日(土)	衛生医療評議会全道病院集會(札幌市)
15日(月)	第17回執行委員会(札幌市)
	第3回拡大闘争委員会(札幌市)
16日(火)	自治労共済事務担当者集會(札幌市)
17日(水)	第4回組織強化委員会(札幌市)
	第4回自治労北海道男女がともに担う推進委員会(札幌市)
道本部ホームページ	
自治労北海道	ユーザー名:hokkaido
組合員専用ページは	パスワード:jichi2009

地公の給与削減反対!

大型ハガキ行動 続行中! 4月3日まで

※3月27日現在

132 単組 68,142 筆

参議院議員 あいはらくみこ

自治労道本部は、第115回中央委員会で「あいはらくみこ」さんを推薦決定しています。

あいはらくみこ 検索

力を合わせて、暮らしを守っていこう。

あいはらくみこ

運動の先頭に立つのは青年

道本部青年部は3月16日（日）、今年8月に開く『夏期交流集会』の座長養成と、労働者の視点で養成講座を開いた。それぞれの単組や職場で実際に起きていることに

対して、「なぜその問題は起きているのか」「背景には何かがあるのか」を実態討論で明らかにして、単組・職場での運動につなげていく。

講座は、自治労会館で開き71人（女性14人）が

青年部 初めての座長講座で話しあった

問題はなぜ起きた？背景は何だ！



労働者の視点やモノの見方を学習した＝3月16日、自治労会館

3.20 さっぽろピースウォーク

流れ変えよう！

アメリカの言いなり



「戦争をやめよう」とピースウォークで市民に訴えた＝3月20日

かを学習してほしい」とあいさつした。

その後、「労働者のモノの見方考え方」「国公給与の改定と臨時特例法」の学習。分散会では、切実な職場実態、日頃の不満や不安が出された。

瀧口青年部長は「集会で得たものを、どう生かすかが重要。自治労運動の先頭に立つのは私たち

青年。職場にこだわりの事実を全体化したかお」とまとめた。

参加者は、「マスコミの情報をつのみにするのはなく、労働者の視点から事実を見る目を養うことが必要と感じた」「どう分散会を進めれば良いかわからなかった悩みが少し解消された」などの感想が出された。

レク交流でコミュニケーション

【日高本発】浦河町職員と組合に理解のある管理職です。春闘時期の団結を、管理職も労働者の一人として理解を深めるとともに、日頃のコミュニケーション不足を解消することも目的としています。今年の大会には32人の雀士（組合員・管理職）が参加し熱戦が繰り広げられました。



職場だより



得点票を持つ、団体戦優勝の「Kチーム」＝2月21日・浦河町

ほかにレクリエーションとして、「クリスマス＆忘年会」で、普段はなかなかコミュニケーションがとれない、組合員と管理職との交流の場として設けています。

職員数の減少にともなう、日常業務がキツクなり、職場での何気ない会話すらできない環境が

チャレンジ！チルドレン・ファースト

いよいよ始動！

国の「子ども・子育て会議」

4月を迎え、いよいよ国の「子ども・子育て会議」が始動することになります。まずは夏頃までに『基本指針』と『ニーズ調査票』について議論し、案をとりまとめる予定が示されています。

自治体としては、それらの検討状況をならみながら、ニーズ調査の実施にむけた準備を進めていくこととなります。

また、支給認定や支払いなどに関するシステムの導入が必須となることから、それらの設計についても検討を開始する必要があると見られます。

そのほか、保育の必要性の認定に関する事項や施設の運営基準など、次々と議論が開始されていく予定です。それらに伴って自治体における作業もどんどん増えていくことが想定されます。

国の「子ども・子育て会議」の議論状況に応じて、早め早めに対応していくことにより、本格的な実施が近づいてから関連職場が混乱する事態を防ぐという発想も必要かと思えます。

忙中余話

「ものすごく上主義が蔓延している」といことになった。先日、WBCの日本・台湾戦で、震災を通じたフアンとの交流が取り上げられ、一人の日本人がツイッターで試合中に台湾への救援に対する感謝のメッセージをポストした。そのやり取りを見て、世の中まだ捨てた来事だった。あの震災から2年。世の中は本当に「互いを尊敬し、尊重する」。あたり前のことなのだが、それが当たり前でなくなっている。あんなに大切なものを失った。あんなに大切なものを失った。あんなに大切なものを失った。あんなに大切なものを失った。

あいくみ

相原久美子の国会だより

2003年3月20日、米軍が首都バグダッドを空爆して開始したイラク戦争から今年で10年目を迎える。この節目に、イラク戦争はなんだったのかを問いただすため、3月20日、大通3丁目にて「イラク戦争開始から、10年3・20さっぽろピースウォーク」が開かれ200人が参加した。

北海道平和運動フォーラム・中村代表は、「アメリカの尻馬に乗ってイラク戦争に協力した日本政府は何も語らず、説明責任を果たしていない。安倍政権では集団的自衛権・国防軍の話が出ている。戦争で犠牲になるのは、弱い立場の市民。もつアメリカの言いなりになる流れを変えよう」と呼びかけた。その後、参加者は「武力で平和はつけない」と訴え札幌市内をピースウォークした。

6年の任期がある参議院には、おむね3年をかけた大筋の課題をしっかりと調査・研究し、国政に反映し懸念な作業を続けていきました。避難指示解除になった広野町、楢葉町では、除染に対する不安が解消されつつあります。また、医療体制や商業施設が整備されれば住民の帰還は見込めないなど、津波被災地とは違う課題を頂いてきました。福島が復興しなければ、日本の未来は語れません。（3月18日東京にて）



自治労道本部は、第115回中央委員会であいはらくみこさんを、第54回臨時大会で小川勝也さんを推薦決定しています。